



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

54 音楽祭プログラム (6/3)

オープニング合唱

司会&主催者あいさつ

音楽祭広報用イラスト優秀作品表彰

かたくり

ししの子

ブービーバンド

Periodista

ローカル線

Rico & Tatsu

新潟県職労

メイウィンズ

ふらっと・しゃーぶ

パールライス

(中実企画) 若い会員の交流会

(中実企画) メーデー合唱団

(ｽﾎﾟﾂﾗｲﾄ) With Caution

合唱団ミール

林音協

東北北合同

日音協茨城県支部

日音協青森県支部

日音協香川県支部

日音協富山県支部

日音協岩手県支部

日音協九州支部

日音協福島県支部

日音協長野県支部

日音協沖縄県支部

6/4(2日目)のプログラム(内容)は3面に掲載。順番等は変更の場合があります。

今6月号は、6月3日に音楽祭を控え、郵送で受け取る「音楽運動読者」にも、6月1日付近には手もとに届くように編集を急ぎました。

行き届かない所(編集)があるかもしれませんが、ご容赦願います。長岡音楽祭を楽しみ、成功させましょう。

(編集部)

長岡でお待ちしています



オープニングの練習中...さんです

はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話し 第8弾 坂口美日

《今知ってほしい、はたらくものの音楽祭直前の話》

第54回音楽祭開催直前の第8弾は、本番開催に向けた情報とお願いになります。

●長岡市リリックホール・シアターについて

今年の開催会場となる、長岡市リリックホール シアターは、2月号にステージ写真を掲載しましたが、演劇仕様のステージということもありとにかく広いです。音楽祭本番では、実際には前半分で演奏し、後ろ半分はガランとした空間になることをご承知ください。

●出演直前の待機場所について

去年の会場は下手袖(ステージに向かって左側)が大変狭かったため、次の出演の方も廊下や階段上での待機をお願いせざるを得ませんでしたが、今年の会場の下手袖は、広いです。大所帯の出演団体でも全員入って待機いただけます。

ただし、袖で発した音はしっかり客席に漏れます。会話はお控えいただき、必要な会話は小声で、あるいは場所を変えてお願いいたします。

●コロナ感染拡大防止対策について

コロナ感染症は5類に移行した後も、感染に苦しむ方、死亡される方の情報は絶えません。そうした状況を踏まえ、今年のはたらくものの音楽祭ステージも、昨年並みの感染対策を行います。マスク着用については、ステージ上ではもちろん、会場内外でも、基本的には個人の判断にお任せしますが、体調の悪い方は、『感染しない、感染させない』の観点で、判断をお願いいたします。

●開演・開場について

3日(土)は、開場12時30分、開演13時、4日(日)は、開場9時45分、開演10時としていますが、開場直前までリハーサルをおこなっており、時間が押した場合は、開場が遅れることもあるということをご承知おきください。ただし、開演が遅れることはありません。

●演奏に関わる直前の変更について

出演者の急な不参加などによる、変更はわかった時点で舞台監督の坂口に連絡をお願いします。前日までの変更は、電話、メールでお願いします。当日は下手袖に待機しておりますので、直接お伝えいただくようお願いいたします。

坂口 携帯電話: 090-7945-6400(SMS 可)

Mail: p.mikann@nifty.com

第54回はたらくものの音楽祭 6月3日(土)

1、オープニング

死んだ男の残したものは 詩＝谷川俊太郎
曲＝武満徹
鳩よ舞いあがれ 詩・曲＝今村一男
届け私たちの思い 歌にのせて
詩・曲＝日音協新潟県支部

2、あいさつ

第54回はたらくものの音楽祭中央実行委員会
第54回はたらくものの音楽祭新潟県実行委員会
音楽祭広報用イラスト優秀作品表彰

3、かたくり

カタクリの花 詩＝笠木透 曲＝安達元彦
ピース・ナイン 詩＝笠木透 曲＝岡田京子

4、ししの子

群青 詩＝南相馬市立小高中学校卒業生
曲＝小田美樹

5、ブービーバンド

カウントダウン 詩・曲＝BBB
Jアラヨット 詩・曲＝BBB

6、Periodista

構成詩 {されど灯し火は消えず}
挿入曲 いまこそ往く 詩・曲＝おだかすや
されど灯し火は消えず 詩・曲＝おだかすや

7、ローカル線

織りなしていくマープル 詩・曲＝塚本茂子
平林すとりと 詩・曲＝上村一郎

8、Rico & Tatsu

コトバ 詩・曲＝森理子
カード 詩・曲＝森理子

9、新潟県職労

WISH 詩・曲＝高林克比古

10、メイウィンズ

ワルシャワ労働歌 詩＝クルジンシャノフスキー
曲＝不詳

自由の歌 ドイツ民謡 訳＝夏目利江

11、ふらっと・しゃーぷ

ひとつぶの涙 詩＝笠木透 曲＝上田達生
ちいさな草を見てごらん 詩＝奥田祐子
曲＝原田文隆

12、パールライス

青春の1Page～サイモンとガーファンクルへ～
詩・曲＝山崎和敏
独り旅 詩＝宮沢英明 曲＝山崎和敏

<中央実行委員会企画>

13、若い会員の交流会

群青 詩＝南相馬市立小高中学校卒業生
詩構成・曲＝小田美樹
群青 詩・曲＝Ayase

<中央実行委員会企画>

14、メーデー合唱団

だから言いたいことを言おうよ
詩・曲＝後藤雅裕
歩く歌 詩＝谷川俊太郎 曲＝林光

<スポットライト>

15、With Caution

・芋の島のうた 詩・曲＝飯塚寿之
・荒れ野に生きて 岡部清さんの詩集より
詩・曲＝飯塚寿之
・水の旅、水の記憶、ノーマア・ミナマタ
詩・曲＝飯塚寿之

16、合唱団ミール

おいでここへ 詩＝杉崎哲夫 曲＝瓦井孔二
大きな心で 詩・曲＝松浦靖英

17、林音協

青空の彼方へ 詩・曲＝宮澤英明

18、東北北ブロック

物語 詩＝佐藤信 曲＝林光
たずねておいで 詩＝安沢ひろみ
曲＝まとはよしお

19、日音協茨城県支部

ウクライナ侵略に抗して
詩＝市川信義、江崎文雄
曲＝江崎文雄
反核のうた 詩＝守谷明宏
曲＝日音協茨城県支部

20、日音協青森県支部

わたしたちは生きてゆく
詩＝佐藤康弘 曲＝阿部尚夫
星のパレード 詩・曲＝甲屋文史

21、日音協香川県支部

青と、黄と、鈍色と 詩・曲＝宮脇昌典

22、日音協富山県支部

ねがい 詩＝大洲中学校三年生有志
曲＝たかだりゅうじ

23、日音協岩手県支部

青い空は誰のもの？ 詩・曲＝窪田聡
一本の鉛筆 詩＝松山善三 曲＝佐藤勝

24、日音協九州支部

新型コロナウイルス 詩・曲＝三小田 勲
ウツ暗いな 詩・曲＝三小田 勲

25、日音協福島県支部

トリチウム毒は毒 詩＝南條善徳
曲＝高山博／南條善徳

26、日音協長野県支部

(日音協ソング2022 推薦曲)
クロマニヨンが笑ってる 詩・曲＝塚本昇

27、日音協沖縄県支部

ふるさと沖縄 曲＝岡野貞一
やさしい心を武器にして
詩＝ピセカツ 曲＝普久原恒勇



＝イラスト作品表彰＝

最優秀賞の遠藤希さん(自治労新発田市職労)の作品は、5月号でポスター紹介しました。

優秀賞の江口友美さん(自治労三条市労連)の作品を掲載します。スペースが小さくてすいません。(日音協のHPでもご覧になれます。)(編集部)

第54回はたらくものの音楽祭 6月4日(日)

28、ういみん

そんな世界が一番 詩＝加本和美
曲＝リチャード・カーペンター
戦争はさせない 詩・曲＝狭石利美

29、シングルトリオ

コント自衛隊 2023 作＝シングルトリオ
＜スポットライト＞

30、塚本茂子

2人のルーティン 詩・曲＝塚本茂子
ヒキザンの bonheur 詩・曲＝塚本茂子
テッペンカケタカ 詩・曲＝塚本茂子
(日音協ソング 2022 推薦曲)
ぼーん 詩・曲＝塚本茂子

31、村上幸子と生きる会

人生に四季があるなら
詩＝落合純子 曲＝三木たかし

32、Kako♡Mika

Always 詩・曲＝石川加鶴子
あなたは風 詩・曲＝石川加鶴子

＜ゲスト＞

33、劇団 blue シーンズ

普通の女の時間です～1945年のトップシークレット

34、自治労音楽協議会

何かしなくちゃ 詩・曲＝山本英二
陽気にゆこう 詩・曲＝大貫裕弘

35、日本私鉄労働組合総連合会

私鉄の仲間たち 詩＝古川和夫 曲＝平岡耀章
希望のうた 詩＝岡本昭宏 曲＝坂井克行

36、日音協秋田県支部

安心な未来を 詩＝下総 大 曲＝後藤雅裕
春風と青空 詩＝熊谷 均 曲＝後藤雅裕
戦争の誘惑に乗ってはいけない
詩・曲＝後藤雅裕

37、日音協東京都支部

構成『その旗は振らない』
太陽の旗 詩・曲＝林光
堤が決壊してしまう前に
詩＝佐藤充彦 曲＝曾村征子
戦争はさせない 詩・曲＝狭石利美
私たちは許さない 詩・曲＝笠木博逸
戦争に力貸さない
詩＝杉 五郎 曲＝市野宗彦

38、FM カンパニー

戦争なんかをするために 詩・曲＝笠木博逸
北の大地から 詩・曲＝磯野宏之

39、日音協新潟県支部

長崎平和祈念像の歌
詩・曲＝今村一男／日音協新潟県支部

40、エンディング

届け私たちの思い歌にのせて
詩・曲＝日音協新潟県支部
インターナショナル 詩＝ボティエ
訳＝佐々木孝丸／佐野碩 曲＝ドージェテル

全国交流会は、6月3日の18時45分から、アオーレ長岡（長岡市役所）1階の市民交流ホールAで開催します。現在120名ほどが集約されています。

リリックホールからの移動については、越後交通バスをお勧めします。

＜県立近代美術館前＞ 17:03 18:08 所要時間32分（くるりん内回り） ※いずれも「長岡駅」
＜ハイブ長岡前＞ 17:36 17:58 18:29 所要時間18～21分 行きに乗車願います。
＜ハイブ長岡前＞ 17:51 所要時間25分（くるりん外回り） ※運賃は230円です。



メーデー万歳! FMカンパニー4年ぶりの演奏

5月1日、晴天に恵まれた北海道メーデーは、札幌大通り公園西8丁目広場に3000人が結集して行われた。4年ぶりに多くの参加者が集まった中でFMカンパニーが30分のオープニング演奏を行った。

私たち自身も当然4つ年齢を重ねメンバー全員が退職者となってしまったので普段の地味な恰好は避けて明るいステージ衣装で臨んだ。観客にはどう映ったのかは定かでないが、久しぶりの観客の前での演奏でテンションは上がり、ノリノリであったのは確かだった。

祭典の終了後にはデモ行進の送り出し演奏をまた30分行って任務を終えた。午後から佐藤会長のガレージでBBQを行い、メーデーをお祝した。メーデー万歳!
(磯野宏之)



FMカンパニー、笠木博逸、待望のCD やっと完成! 長岡祭典で初版限定販売します 現金の用意を!

FMカンパニーのオリジナルCDが遂に完成した。併せて笠木博逸セクションCDも同時リリースです。新潟祭典でそれぞれ限定50部の特別販売を行いますので、参加者の皆さんよろしくお願いします。

FMカンパニーCD

『喜唱点結』うたっていいんでないかい
FMカンパニー佐藤和弘会長のお願い

この度2年かけてCD制作を行ってきました。コロナ禍で会場が使用出来なかったり、8月にはコロナ感染拡大をメンバー内で起こしてしまうとか、色々ありましたが、何とか新潟祭典に間に合いました。全13曲、メンバーの厳選作品です。限定歌詞付きの付録もお付けしました。50部全部売れるまで、北海道に帰れまテン。よろしくお願いします。

FM、笠木CDの購入、祭典以外での申し込みは、メールでお願いします。

hiroiso2021@gmail.com

FMカンパニー 磯野まで

それぞれ定価 1,000円 (送料 無料) です。

振込先はメールで連絡します。
(磯野)

いろいろお金の出費があると思いますが、会場ではクレジットカードは使えないと思います。

現金のご用意をお願いいたします。
(編集部)

『喜唱点結』収録曲

- 1 うたっていいんでないかい
- 2 北の大地から
- 3 ブルーマウンテンサイド
- 4 海のある街へ
- 5 ゴメンだけ
- 6 さよなら原発
- 7 海の向こうから
- 8 なんもかんも忘れて
- 9 長い旅の途中
- 10 生きる
- 11 武器を捨てて
- 12 すべての人に
- 13 メッセージ

笠木博逸セクション

オンザロード (Ac-ver)
核のゴミと原発マネーのブルース
人生は晴れの日ばかりじゃないから
レッツシングアソング
オンザロード・アゲイン
ありがとう青春の歌たちよ
We try No.1
さよなら原発
うたの旅
海のある町へ
アショアU.S.A.
さくらエレーズ
スカスカ音頭
たとえつらくても
喜びも悲しみも分かち合いながら
あじさいの花
私たちは許さない
オンザロード (HR-ver.)
全18曲



笠木さんのCDについては
6面に掲載しました



沖縄行動から足をのばして

5月13・14日の平和行進に参加した後、17日まで沖縄に居ました。15日は安和、16日は塩川の行動に参加しました。どちらも土砂搬出の場所です。採石場から掘り出した土砂を船に乗せ、沖から辺野古に運んでいくのです。

安和の琉球セメントには、船に積み込むためのベルトコンベアを覆う長いトンネルがあります。採石場からのトラックの入る搬入口と、空になったトラックの出る搬出口の両方で、朝7時から20時まで、牛歩で横切って運行を妨げるのです。塩川（港）でも7時から17時まで、同様にトラックの搬入出を妨げる行動があります。辺野古では集会があったり座り込みの攻防がありますが、ここではただ延々と歩くだけです。参加も休憩も各自、自分のペースです。

安和は昨年に次いで2回目、塩川は初めての参加でした。塩川で、地元で参加されている方が、「ダンプは1日160台と、防衛局は約束した。でも多い日は600台も行きかう！時間も守らない。やりたい放題だ！」と怒りのアピールをしていました。ちなみにこの日は200数十台に抑えられたそうです。

4年前、美ら海水族館に向かうバスの窓から、赤土むき出しの採石場を見てショックを受けました。それが『ぼくとオキナワ』という歌につながっています。今年同じルートから見ると、道路側から見える砕石山が増えたように思います。山を削って削って、美ら海を埋めているのです。台風の多い沖縄で、海の近くの山をこんなにも削って、赤土が海に流れ込みはしないのでしょうか。

私は運転ができないので、いつもバスです。今回は知人の車に同乗しましたが、安和へはやんばる急行バスで行けます。あなたもぜひ！（森理子）



香川県メーデー中央集会でうたごえ



井下さん 高田会長 細川さん

5月1日（月）9時30分から、サンポート高松で、日音協は開会セレモニーとして約30分間、歓迎の歌声を響かせました。

メンバーは高田、井下、細川で、「青と、黄と、鈍色（にびいろ）」を始め、高田会長の三味線伴奏で「聞け万国の労働者」、そして定番の「peace & happy」などを歌いつなぎ、最後は「がんばろう」で締めました。

晴天の「うたごえ」は気持ちいい！

（細川剛）

憲法大集会に25000人



5月3日、東京都江東区の有明防災公園で、「あらたな戦前にさせない！ 守ろう平和といのちとくらし 2023 憲法大集会」が開催され、2万5千人が参加しました。

日音協は、『5・3 憲法集会みんなで歌う合唱隊』の一員として、「HEIWA の鐘」の参加者全体の合唱、そして、デモ行進の送り出し演奏をしました。

また、ミニステージ<Human Music ライブ>を担当しました。（松本敏之）

水道橋だより

▼種々編集の都合があり、今号は笠木さんのCDの販促（販売促進）のコーナーにさせていただきます。それでは笠木さん、どうぞ。▼ミュージックCD笠木博逸 Selection『On the road』▼我が人生において、はじめての音楽CDです。▼4年前からの構想で、相棒の沼前さんと二人でこつこつレコーディングをしてきました。▼途中、コロナ禍では、スマホで録音をして、メールで送信し、伴奏と歌を合体させるといふ今までは考えられないレコーディングも経験しました。▼昨年秋、関東ブロック合宿から帰ってきて、息苦しさを感じ、コロナの後遺症かと思いましたが、大きな病院の精密検査で肺ガンのステージ4という診断でした。▼この間、抗がん剤治療の化学療法を受けながら、ジャケットなどの装丁を終えて、今月CDがやっと完成しました。▼新潟祭典で自らCDを販売したかったのですが、まだ無理は出来ない状態で参加出来ません。自分が歩んできた人生「On the road」の中での厳選したセクション曲、是非とも、このCDを手元において、聴いてくださるだけで、うれしく思います。闘病中ですが、創作意欲は衰えてはいません。「来年の沖縄には行くぞ!」という強い気持ちでいますので、また会いましょう。



【参加者】はしゆきさん、松本さん、スーさん、佐藤さん、坂口さん、達哉、森、計7名

葉萸坂に、久しぶりに松本さんがギターを持って登場。それに安心して、モリヤさんとイサさんは『沖縄屈辱の日ブルーアクション』に向かった。

スーさんが松本さんに「オスプレイ」って、歌ってよ」とリクエスト。そこから『松本オンステージ』が始まった。『オスプレイ』『10年前の事』『HEIWAの鐘』そして最近行動時に歌っているという「一人の手」などなど。はし

歌の力が物語るもの 118

葉萸坂つた行動 4/28 (473回) 報告 Riko

ゆきさんが電子リコーダーで音を添えていく。

佐藤さんも到着した。達哉がちゃっかり三線を借りてしまい、佐藤さんはトランペットを構える。『原発なくたって』『ジューゴンがすむ海』。スーさんが『怒りのこぶし』を上げよう』に新しい歌詞を加えていた。「許さないぞGX法案」だ。怒りのこぶしは上がりっぱなしだな。どんどん歌詞が増えていく。佐藤さんは坂口さんのリクエストにこえて歌声を披露、『辺野古旅情』を朗々と歌い上げてくれた。歌いながら間奏にトランペットを入れていく。

久しぶりの参加者にはリクエストの優先権があるよ、と言って、坂口さんの希望で『あさんの歌』。葉萸坂の初期のころの加本作品。ところどころ忘れていたけれど、3番はきっちり歌えた。

「自民の皆さん あなたたちにも母さんはいるでしょう：原発止めて議員も辞めていちから出直しなさい」

闘うかあさんの歌だ。懐かしい。

モリヤさんのリードは無いけれど、怒りをこめて『水に流すな』を歌った。そしてメーデーの時期だから『私たちの暮らしは私たちが決める』。憲法記念日を前に心に刻む『決意』。

最後は、『原子力発電NO!』。歌っている途中、いつもの親子連れが通りかかっ

て、妹ちゃんがチョコレートを配ってくれた。葉萸坂を始めたころ、まだお母さんのお腹にいた女の子だ。葉萸坂を通して国会前庭のキャンドルエリアに参加し続けている。行動し続けている人の存在は力になる。私たちも繋いでいこう。

※笠木さんの回復を祈念しております。体調をみて、連絡ください。ハッパをかけてください。よろしく。(佐藤)



どん行

(167)

飯島貞親

うー♪♪貴女を待てばアメが降る♪。アクセントは「飴」だが、甘い二人だからまあ良いか。

▼なんか変だな有名な曲、いくつか。▼「コンドルは飛んでいく」コンドルの体重十数kgというのは筋肉を使って飛ぶ鳥の体重の限界。コンドルは昼間、山の中腹と日の当たらない谷間の気温差によって生じる上昇気流にのって舞い上がる。上昇気流中でコンドルは巧みに位置エネルギーを運動エネルギーに変換しながら飛び続けることができる。だから「コンドルは浮いている」が正しい題名かも。夢がないね。▼「翼を下さい」大空を自由に飛び回りたいと願った歌だが、まあ気持ちは分かるけど手が翼になってしまったら大変。楽器は弾けないし道具も作れない。それに、鳥は体重が軽いが空を飛ぶので相当量の餌を食べなければならぬ。もし人間に換算したら食糧危機は想像を絶する。これまた夢のない話。▼「虹と雪のバラード」♪きみの名を呼ぶオリオンピクと♪。筆者はずっと♪オリオンピク塔♪と思っていた。また、ゼネコンを儲けさせやがってと。▼「中央フリーウェイ」♪調布基地を追い越し♪とあるが、追い越すというのは相手も動いている状態のこと。愛は何でも可能にするか?▼「有楽町で逢いましょう」♪♪貴女を待てばアメが降る♪。アクセントは「飴」だが、甘い二人だからまあ良いか。